

# 更生保護女性会会長賞

堺市立 西百舌鳥小学校 六年

前田 羽菜

## 「あいさつ」は生きるパワー

「こんにちは。」「ありがとう。」「ごめんね。」

これらは「あいさつ」です。日常を楽しくさわがせてくれるものであり、私達の町や生活に欠かせないものです。

私はこれらを「生きるパワー」と思っています。なぜなら、心が軽くなるからです。これから、その「パワー」について説明します。

例えば、あなたが誰かにあいさつをしたとします。しかし無視、またはいやな顔で返事されたとします。あなたはどんな気持ちになりますか。あいさつをした相手によって変わるかもしれませんが、きっと、いやな気持ちになるのではないのでしょうか。これは、自分は勇気を出したのに、という「いら立ち」が原因だと考えられます。

朝の学校のクラスの中で、私があいさつをすると、

「おはよう！いい天気だね〜！」

と返してくれます。そのとき私は、「あいさつしてよかったな。」

と、今日一日が明るくなるような気がしました。

私はこのことをきっかけに、いろいろな友達や先生に気持ちのよいあいさつをすることができました。あいさつをすると、相手だけでなく、自分もうれしいのだな、と学びました。

あいさつは、日常や学校に深く関わっています。あなたは、無意識にあいさつをしていませんか。友達にぶつかったりしてしまうと、

「ごめんなさい。」

助けたもらった友達には、

「ありがとう。」

と言うでしょう。それは、自分が誰かに「あいさつ」をしてもらい、うれしかった、という証拠です。そして、自分の両親からの言葉を覚えたからです。

今、そんなこと「当たり前」と思いませんでしたか、思った人、それはちがいます。当たり前ではありません。それだけ言われてきて、心のどこかで大切だから、と思っっているからなのです。日常の経験で思ったことがあるかもしれませんが、当たり前は、宝

物です。だからこそ、気づくのが難しいのです。先ほどの話にもどりますが、だからこそ、あいさつができない人が多いのです。

このことから私は、「あいさつ」が一番簡単だけど、一番うれしい、「爽快な気持になる言葉」だと思います。これは世界一かんたんな魔法です。世界一のパワーなのです。

言葉や知恵は、生きていくために必要であり、必要不可欠です。その言葉が、その一言が、明るい気持ちを、明るい明日を連れてきます。それだけで、コミュニケーションのはばも広がり、人と人とのつながりを広げ、深めてくれるのです。

だから私は今も、これからも、自分も相手もうれしい気持ちになるために今、

「こんにちは。」「ありがとう。」「ごめんね。」

